



帝京大学主催 第5回環境・エネルギーシンポジウム 中東情勢の緊迫化と国際エネルギー秩序： 安定供給へのリスクと課題

2026年9月11日(金)13:25~17:05

会場：帝京大学霞ヶ関キャンパス

東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー9階

東京メトロ 有楽町線、半蔵門線、南北線「永田町駅」4番出口より徒歩約1分

銀座線、丸ノ内線「赤坂見附駅」7番出口より徒歩約6分

定員：70名 参加費：無料

中東情勢の緊迫化、とりわけホルムズ海峡の不安定化は、日本と世界のエネルギー供給を揺るがし、東アジアの経済・産業にも深刻な影響を及ぼしています。本講演会では、この危機の構造的要因を歴史的視点から捉え直し、日本を含む国際社会が直面するエネルギー安全保障の強靱化、供給源の多角化、脱炭素化の加速といった中長期的課題について議論します。

【開会挨拶 13:25~13:30】 冲永 佳史 帝京大学学長/理事長

【基調講演 13:30~14:20】 中東石油危機の歴史的構造とエネルギー秩序：

日本と世界への連鎖的影響

豊田 正和 国際経済交流財団会長/スペースワン代表取締役社長
/日本エネルギー経済研究所前理事長

【講演 14:20~15:10】 日本のエネルギー安全保障の脆弱性：

中東依存の形成と脱却

小宮山 涼一 東京大学大学院工学系研究科教授

【講演 15:20~16:10】 燃料供給危機に備える日本の電力供給構造とその自立性

田沼唯士 帝京大学大学院理工学研究科特任教授

【講演 16:10~17:00】 脱炭素化とエネルギー安全保障の交差点：

中東危機が促すグリーン転換

郭 四志 帝京大学冲永総合研究所特任教授

【閉会挨拶 17:00~17:05】 軽部 謙介 帝京大学冲永総合研究所長/特任教授

【申込方法】以下の参加申込みURLまたはQRコードで表示される申込フォームに必要事項を記入して送信 (Submit) してください。

＜申込みURL＞ <https://forms.gle/Fn1RLck3iK1Z6T3bA>

※参加にはお申込みが必要です。

※30分前開場。駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

【お問い合わせ先】帝京大学冲永総合研究所 郭 四志(kakushishi@yahoo.co.jp)

TEL:03-5213-4503 / 090-9813-3213

